

職員より皆様へ新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

昨年はエボラ出血熱をはじめ、波乱の一年でした。一方、環境に配慮し人類を幸福にするようなニュースも多く見られたように感じます。キューバと米国の国交正常化交渉がスタートしましたし、勇気を持って真実を語り出す人々が増えるに従い、明るい扉が開かれたような気が致します。当会は青年海外協力隊派遣50周年を迎える本年、国際協力・国際交流・異文化理解・環境保全という分野でスタッフ一同精進するとともに、皆様と共に地域活性化に努めたいと存じます。

2015年は広い緑の草原の草を食む羊のように皆様が健やかで稔りある一年になりますように。また、平和で豊かな世界になるよう祈念致しております。 事務局長 丸田隆弘



明けましておめでとうございます。

昨年10月に当協会も10歳を迎えました。これまでに本当に多くの方々からのご支援・ご協力を頂いたからこそ感じております！これから次の10年後を成人(20歳)を目指して参ります！その為にも1年1年を着実に積み重ねて行きたいと思っております。

本年も皆様にとってより素敵な1年となりますように！ 武井 隆治



あけましておめでとうございます。未年の「未」とは、「果実が熟した状態の味(み)」「豊作への期待」が込められているそうです。

また羊は群れを成す動物であり、平和と安泰という意味もあるそうです。初心を忘れず2015年は羊のように平和で、未のように実りの多い年にしていききたいと思います。今年もよろしく願いいたします。 米村 淳平

あけましておめでとうございます。

昨年はカンボジア出張が多く、なんだか隊員の頃を思い出す一年でした。今年はいよいよ「命の水プロジェクト」も最期の年となります！モニタリングまで気を引き締めて頑張りたいと思っております。

今年もどうぞよろしく願いいたします。 河野菜津子



新年のお慶びを申し上げます

本年の干支“羊”で象徴される安泰と平和。業務一つ一つが、世界の安泰と笑顔に繋がるよう尽力して参ります。

本年も、どうぞ宜しくお願いいたします。 佃 麻実

明けましておめでとうございます。

日本は2015年になりました！「今は世界中で2015年でしょ？」いえいえそんなことはないんです。エチオピアは今2007年です。文化が違えば日付も違う。世界にはたくさんの文化があって本当に面白いんです。

今年もそんな面白い発見がたくさんありますように。そして世界中の人の笑顔が溢れる1年でありますように。 古泉 志保



明けましておめでとうございます。

3年ぶりに日本で迎えるお正月となります。昨年のお正月は、エルサルバドルで爆竹の音に悩まされながら迎えました。今年も気分は爆竹のごとく、そして周りに迷惑をかけないように、はじけていきたいと思っております。

本年も何卒よろしく願い申し上げます。 橋口恵利子

九州海外協力協会 10周年

平成26年10月22日を持って当会は10周年を迎えました。発足当時はよちよち歩きのような感じでしたが、あれから10歳になり、おかげさまで少年のように足が速くなりました。当会は今後とも会員の皆様とともに地域の国際化・活性化に向けて精進致します。

平成16年11月21日に設立記念パーティーを行いました。当日はマラウイ大使閣下に祝辞を頂きました。当時の祝電を見てみますと麻生太郎総務大臣、松山政司元外務副大臣、九州各県の知事、市長様、韓国ボランティアOB会KOVA、福岡教育連盟等多くの方々からご祝辞を頂きました。



パーティー終了後の写真です。発足当時からのスタッフ齊藤さんと笑いあった日々が懐かしく思い出されます。

当会を支えていただいている方々に、これからも感謝の気持ちで業務を行いたいと存じます。これまで10年間のご支援本当にありがとうございます。今後とも宜しくお願い申し上げます。(丸田)

九州ブロック会議in久住

11月8日から9日まで、大分にある国民宿舎久住高原荘にてJOCA九州沖縄ブロック会議が開催されました。この会議は公益社団法人青年海外協力協会主催で、九州沖縄各県のJICAボランティアOB会長やブロック役員が集まって毎年一回各県持ち回りで行われる重要な会議です。今回はJICA九州の勝田所長も参加頂き、21名で二日間の協議を行いました。中心議題は本年50歳を迎える青年海外協力隊事業で、各県の皆さんから色々なご意見を頂きました。そして、大分県の鈴木会長からは、鈴木農園からコンテナ2箱ものみかんの差し入れがありました。写真の通り、とっても美味しかったです。夜の交流会では、カボスワインから始まって地元の美味しい料理を堪能しました。2次会でも熱い議論が交わされておりまして。今年は福岡での開催になります。(丸田)



命の水プロジェクト

12月のカンボジアは1年で一番過ごしやすい気候です。雨も降らないし、気温も低いので遺跡観光にもってこいなのです。クリスマス休暇も影響しているのでしょうか雨季には考えられないくらい観光客がシェムリアップにやってきます。

しかし、今年はなぜか毎日結構な量の雨が降り、そのあとはからっと晴れますがなかなか湿度が高いです。カンボジア人も「今年は異常だ〜」と言っています。

現在、水処理装置はアンコールクラウ村からさらに奥に行ったところにあるスパイチェイク村の小・中学校に建設しています。校長先生が全面協力をしてくれているので、工事は思いのほか順調で、完成まであと少しといったところです。

水処理装置の配管をつなぐ作業をじっと見ていると、管をバーナーであぶっていました。「何やってんの?」と聞くと「管の大きさがカンボジアにはないサイズだから大きくする」といってあぶった管に同じ大きさの管をギュッと押し込み大きくしていました。一回り大きくした管は、無理矢理ろ過タンクの配水管に繋がりました。多少強引な気がしますが、モノがなくても何とかしてしまう…

さすがだな!と思いました。道具や物が少ない国ならではの工夫が満ち溢れていました。何でも作ってしまうカンボジア人ですが、長持ちするかはまた別の話。道路でも、なんでも修理をしながら使います。カンボジアらしいですが、もう少し効率が良い方法はないのかな?と疑問に思うこともあります。しかし、「何事も梓にはまらない」この感じがなんともうらやましかったり。

助け合い精神も素晴らしいので(そのため、友達を助けるためカンニングし放題なのが笑えますが)、カンボジアに来るといつも自分の生き方を考えさせられます。

プロジェクトも残すところあと半年。できることを精一杯頑張っていきたいです。(河野)



ワールドフェスタin日田

12月6日(土)、大分県日田市にて「ワールドフェスタin日田」(主催:日田市公民館運営事業団)が開催されました。当会もJICA九州と共に、5年前から協力を行っています。当日は朝から雪。しかし、約300名の日田市管内の小中学生は元気いっぱい、世界とつながる一日を過ごしました。(佃)



《クバーラ体験》

マダガスカルのお鬼ごっこ・クバーラ。このイベントで初めて出会った他小学校のお友達とも、クバーラを通じてすっかり仲良しに。



《スカイプ交流》

日田出身のキルギス隊員および現インドネシア在住の協力隊OVの協力のもと、現地の子どもたちと交流しました。じゃんけんで大盛り上がり!

JICA九州にて 協力隊ミニミニ写真展

JICA九州のレストラン“JICAFe(ジャイカフェ)”。その入り口に小さな展示スペースがあるのをご存知ですか？

現在、この小展示スペースにて、JICA九州内に勤務する元協力隊員による「私の任国・思い出の一枚写真展」を開催しています。

協力隊員だったJICA職員、JOCA九州のスタッフ、JOCA九州元局長も参加したこの写真展。任国の思い出深い一枚とあわせて、どうして協力隊に参加したのか、そこで何を学んだのか、自分が思う国際協力とは？などを記した各人の履歴書も掲示。協力隊に関心のある方はもちろん、様々な方にも楽しんでいただけるミニ写真展となっています。

八幡に来たら、JICAFeの世界の料理とミニ写真展で、世界に思いを馳せてください！！(橋口)



国際協力 フェスタ 地球市民どんたく2014

国際協力・交流に対する意識を高めるための催しである「地球市民どんたく」が今年も開催されました！このイベントは、企画から広報に至るまで、運営全般を福岡のNGO等のスタッフが行っているものです。今年のサブタイトルは「こんなに身近な世界と福岡」でした。



当協会のブースでは、「世界の文字で自分の名前を書いてみよう！」コーナーを設けました。エチオピアのアムハラ語や、カンボジアのクメール語など、普段ほとんど目にする事のない文字で名前を書くのは新鮮な体験のようで、子どもから大人まで、たくさんの方がご自分の名前を書いて行かれました。

実に1年前から会場(アクロス福岡)が予約されているこのフェスタ。数ヶ月前から会議や準備を重ねて、ようやく本番の日を迎えました！

このフェスタをきっかけに、来場者に少しでも世界に目を向けてもらえたらなと思っています。(古泉)

青年研修事業 from カンボジア王国

11月6日から18日までカンボジア-初中等理数科教育コース-の青年研修を実施し、総勢14名の教育関係者が来日しました。

初日に福岡市教育委員会から講義を頂戴し、児童文化科学館やいのちのたび博物館の視察、香椎浜小学校・庄内中学校・純真高等学校での授業視察や意見交換を行いました。

また、福岡国際大学では先生から「日本の教員養成・現職教育」について講義を受け、午後からは教員を目指す学生達との意見交換も実施しました。

研修後半でホームビジットも行い、受け入れ家族と1日を過ごし、日本を知る貴重な機会となりました。

駆け抜けた13日間でしたが、研修員達の意識も高く、最後には全員素晴らしいアクションプランを堂々と発表してくれました。今後の活躍が楽しみです。(武井)



年越しは母国で・・・

JICA九州には毎年世界約120ヶ国より1000名を超える研修員がやってきます。(H25年度118ヶ国1058名)

そんな研修員たちの数も、11月後半からクリスマス前になるとぐっと減り、年末には誰もいなくなります。クリスマスやお正月は誰でも家族と過ごしたいですもんね。年をまたぐ研修は極力避けているそうです。

交流プログラムなどで仲良くなった研修員とは、一緒にJICAの体育館でトレーニングをしたり、食事をしたりと、彼らの日本滞りがより充実したものになるようにいつも接しています。仲良くなった研修員が帰ってしまう時は正直さみしい時もありますが、研修を終えて、愛すべき家族や母国に帰る研修員を笑顔で見送るのも、大切な仕事だと思っています。2014年もたくさんの研修員と会うことができ、たくさんのことを教えてもらいました。

研修員の皆さん、ありがとうございます。(米村)



☆協力隊ナビに来てみませんか？☆

「協力隊は現地でどんな活動をしているの?」「求められる経験は?」「帰国後、どんな活動をしているの?」といったことから、「そもそも協力隊って?」といったことまで、ざっくばらんに皆様の疑問や相談にお答えします。

食べたり飲んだりしながら、
色々なお話を
気楽な会です。



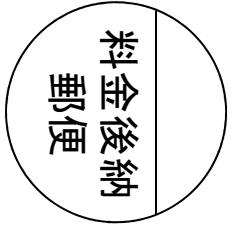
次回は・・・
1/14 (水) 19時～21時
2/20 (金) 19時～21時
3/18 (水) 19時～21時

JICAボランティアに
興味がある方、OVの皆様、
ご参加をお待ちしております♪

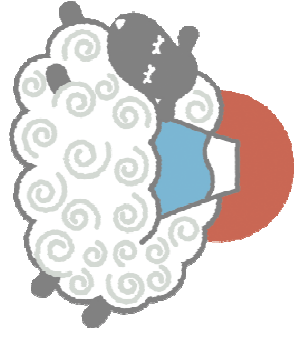
会場:九州海外協力協会
(JR博多駅より徒歩7分)
主催:福岡県青年海外協力協会

～入退出自由・会費不要～

詳しくは当協会のHPまたは「協力隊ナビ」で検索を!



特定非営利活動法人九州海外協力協会
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-10-34 Mビル3号館
2F AB号室
TEL:092-415-6536
E-mail:ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp



(特活)九州海外協力協会 ☆会員募集中☆
当協会では、活動に御賛同いただける団体・個人の皆様の募集しております。会員の方には四半期毎に発行しております「JOCA kyushuだより」をお送りさせていただいているほか、当会主催、共催のイベント情報などをご案内しております。是非ともご入会下さい!

※ご関心のある方は、当会までお問い合わせ下さい。

JOCA Kyushu ぶろぐ
スタッフが日々の業務やそれぞれの日常を徒然なるままに綴っております。お時間のあるときにぜひご覧下さい。基本的には毎週水曜日更新!コメントお待ちしております☆
<http://blogs.yahoo.co.jp/jocakyushu/MYBLOG/yblog.html>

《編集後記》
新年が9/11のエチオピアから帰国して、日本で過ごす2回目の年末年始です。師も走る慌しさや爆弾低気圧の寒さになかなか慣れませんが、寒さ本番はこれからですね!皆様お体にお気を付けて。(古泉)



発行 特定非営利活動法人 九州海外協力協会
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-10-34
Mビル3号館 2F AB号室
TEL:092-415-6536
FAX:092-415-6518
HP:www.joca-kyushu.or.jp/
E-mail:ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp

